

8000万人/地球上 人口が増えている  
98%が発展途上国である  
80%が都市に集中している

今は余った土地に樹木を植えている  
自然との共生として考える  
都市の中の土地をどのようにして活かしていくかドイツでは行われている  
何に心地良さを感じるか 自然 98%  
どうしたら実現できるかが大事

壁面緑化の害虫対策は？  
いろいろな植物を植える  
野鳥の住む環境をつくる

この環境センターに 4000年/年訪れる  
幼児 100人  
小学生 500 ~ 600人  
個人 800人

エネルギー消費をいかに減らすかがテーマ  
(自然界からエネルギーを造り出すことでなく)  
化石燃料を効果的に使うこともテーマの一つ  
木材を利用する(遠くから運んでエネルギーを来るよりも使うより地元の  
素材を使う方がエネルギーが少なくすむ  
風力発電は北ドイツの海岸に多くあるが横ばい状況にある  
水力発電は無理  
将来はソーラーエネルギーに移行(可能性が大である)  
水素エネルギーを考えている(燃やしても水になる)  
モーターの排熱利用 病院、プールなど  
建築家、都市計画家がエコロジーの勉強をしてくれると普及が図れる

#### 建築基準法

建築の申請は許可制  
基本的には新築はさせたくない  
1 本当にそのような建築が必要であるか、広さが必要か  
2 用途が相応しいか  
3 同じ広さの敷地を求めそこに同じような生態系をつくる  
4 自然が受ける打撃を最小限に押さえる  
5 同じ価値のものを別の場所につくる必要がある  
(木を植える、池をつくるなど)  
価値判断は専門家が行う  
6 自然を壊した分の慰謝料を払う方法  
(その金を自然保護に活用する)

公共の緑はできるだけ消毒しない  
家庭でも化学薬品で消毒しないような指導をしたり情報を流す  
雑草は年2回程度しか取らない

.....  
13:30 ~ 2:30 食事 テラスガーデン (ウィーゼンミシュール) ビール工場見学  
2:30 ~ 4:00 教会 公園見学  
4:30 ~ 6:30 フリータイム(買い物) フルダの町  
19:00 ~ 8:30 食事